

### 3. モデリングの基本ルール

#### 3.6. 境界条件のルール

##### (1) 支持条件のルール

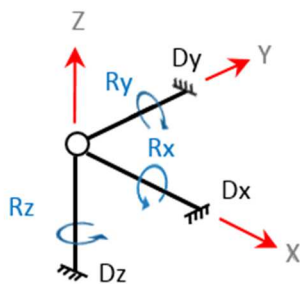
- ・支持条件は、全体座標基準で設定します。
- ・X,Y,Z 方向の変位拘束と X,Y,Z 軸回りの回転拘束を設定します。
- ・デフォルトでは、最下層柱脚位置にピン支持が自動設定されます。  
自動設定の ON/OFF は、「解析/設計>解析/設計」で設定できます。
- ・「モデリング>支持条件」で節点ごとに直接入力することもできます。
- ・浮き上がりを考慮したい場合は、「計算条件>応力計算」の"支点の浮き上がりの考慮"を"する"に設定します。

##### (2) フレーム連結条件のルール

- ・フレーム連結条件は、部材座標基準で設定します。
- ・x,y,z 方向の変位拘束と x,y,z 軸回りの回転拘束を設定します。
- ・デフォルトでは、ブレースと鉄骨小梁にはピン接合、その他の部材には剛接合が設定されています。
- ・「モデリング>フレーム連結条件>フレーム連結条件」で部材ごとに直接入力することもできます。  
直接入力の際、バネ値を入力することもできます。
- ただし、ブレースの連結条件は変更することができません。
- ・「モデリング>フレーム連結条件>弾性」で、2つの節点を弾性バネで連結することもできます。

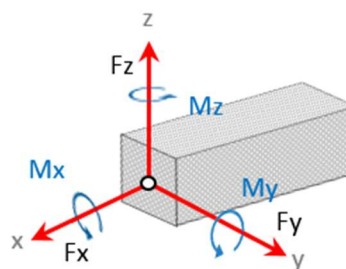
##### (3) 剛域長さのルール

- ・RC 柱、梁には剛域が自動設定されます。
- ・「モデリング>境界条件>剛域長さ直接指定」で部材ごとに直接指定することもできます。



支持条件

全体座標基準で設定します。



フレーム連結条件

部材座標基準で設定します。